

令和8年5月1日
国土交通省関東地方整備局
二瀬ダム管理所

令和8年度 二瀬ダム管理所事業の概要

～荒川流域を見守り続けて65年～

令和8年度は堰堤維持費『約7.8億円（令和8年度当初）』、『約4.6億円（令和7年度補正）』により適切なダム管理を行うための事業を実施します。

二瀬ダムの目的である洪水調節、かんがい用水の確保、発電を確実に実施するために必要となる令和8年度における主要な事業は以下となります。また、二瀬ダムでは堆砂の進行が計画より速い状態が続いており、過年度から堆砂対策の工事を実施していますが、引き続き令和8年度もダムの機能を維持するために堆砂対策の工事を行います。

【概要】

1. 貯水池機能を保全する工事
2. ダム情報通信設備の更新
3. ダム管理業務

※事業計画等は、現時点における予定であり、今後変更する場合があります。

※上記事業費の外、工事諸費等があります。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 秩父記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 二瀬ダム管理所

電話：0494-55-0001（代表） FAX：0494-55-0258

建設専門官 宇野

二瀬ダム管理所 施設位置

二瀬ダムは、荒川の本川最上流部にあたる埼玉県秩父市大滝地先にあり、河口から上流へ約150kmに位置する昭和36年(1961年)12月に完成したダムです。荒川は、その水源を秩父山地の甲武信ヶ岳(標高2,475m)に発し、奥秩父特有の深い渓谷を流下して秩父盆地を北流し、長瀨を経て寄居付近から関東平野をほぼ南に流れて東京湾に注いでいます。



出典: 荒川水系河川整備計画(令和2年9月)

ダムの諸元

ダム完成: 昭和36年(1961)
 ダム形式: 重力式アーチコンクリートダム
 ダムの高さ: 95.0m
 流域(集水)面積: 170.0km²
 総貯水容量: 26,900千m³
 ダム所在地: 秩父市大滝

ダムの目的

洪水調節

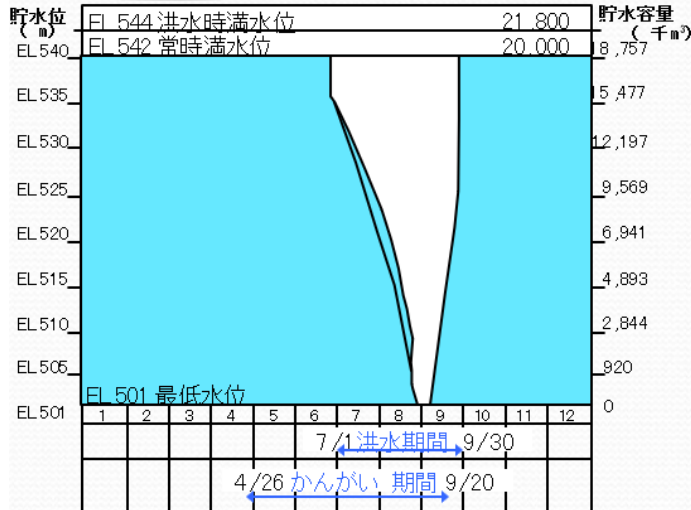
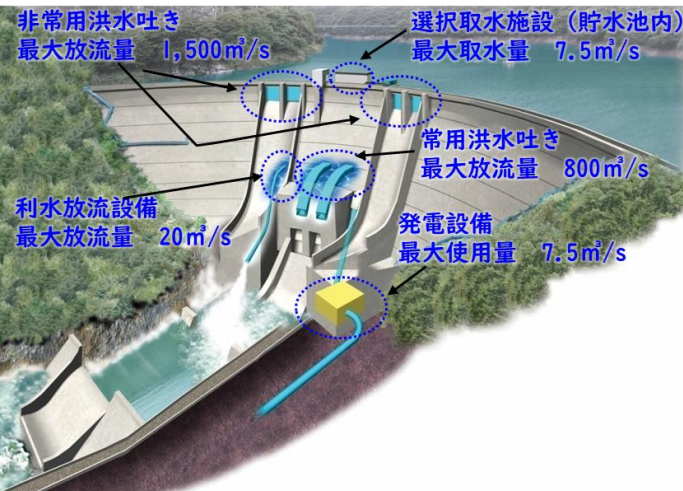
ダム地点計画高水流量: 1,500m³/s
 計画最大放流量 : 800m³/s

かんがい用水

櫛引地区、本畠地区、
 大里・元荒川地区 合計 8,603 ha

発電

二瀬発電所: 最大出力 5,200KW
 (最大使用水量 7.5m³/s)



貯水池運用図

令和8年度主要事業

●貯水池機能を保全する工事

・貯水池内の流木対策

豪雨や台風等により、貯水池内にダム上流域から流木が流れ込みます。そのままではダム管理施設に支障が発生するため、継続的に流木の回収、集積、処理を実施します。集積した流木は、陸揚げし、自然乾燥させます。また、一部は無償で配布を行っています。



流木の集積



流木の無償配布

・貯水池内の堆積した土砂の掘削

二瀬ダムでは、前線や台風等による出水により、貯水池内に多くの土砂が流入します。流木同様にそのままでは、ダムの管理に支障を及ぼすため、継続的に土砂の掘削工事を行っています。また、掘削した土砂の一部は、環境改善を目的としてダム下流の河川に還元を行っています。



堆積土砂の掘削状況



ダム下流河川へ土砂の還元

令和8年度主要事業

●ダム情報通信設備の更新

- ・二瀬ダム管内における情報通信設備の更新

ダムの下流においては安全管理のためにCCTV(安全監視のためのカメラ)や情報発信用に情報表示板等の電気通信設備を設置しています。今年度においては、機能維持のため各設備の機器更新を行います。



CCTV



情報表示板

●ダム管理業務

- ・二瀬ダムの管理

ダム提体をはじめ周辺の設備が正常に機能できるよう、日々点検を行っております。また、台風など大雨が予測される時には流入量の予測、関係機関への放流に関する通知、ダム下流の河川巡視を行います。



ダム貯水池内の巡視



ダム管理設備の点検